

6月9日には、多摩中央公園のリニューアルに係る予算の増額〔一般会計補正予算(第3号)〕が、6月19日には国の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を受けた低所得世帯や事業者への物価高騰支援策を中心とした予算の増額〔一般会計補正予算(第4号)〕が市から提案されました。

補正予算(第4号)に対しては、質疑ののち議会から修正案を提出し、全会一致で可決となりました。



始まる 带状疱疹ワクチン助成

東京都の「带状疱疹ワクチン任意接種助成事業」が新設されたことを受けて、接種を希望する市民の費用負担を軽減する事業です。

接種対象者は50歳以上の多摩市民。

助成額は生ワクチンが5,180円、不活化ワクチンが10,000円×2回分のため、費用負担の目安は生ワクチンが3,000円程度、不活化ワクチンが12,500円程度×2回分。

市民が病院に支払う接種費用は助成額を差し引いた金額で良いことや、病院によって費用が違うことが質疑で確認されました。

事業の周知方法として広報・ホームページの他に、病院の待合室などに張るポスターも有効であることや、副反応があることも合わせて周知するべきとの声もありました。



(衛生費 保健衛生費 予防接種事業)



〔夏の風物詩〕

撮影者：AMさん(市内在住)

撮影場所：多摩中央公園 グリーンライブセンター



多摩中央公園改修事業、増額補正へ

多摩中央公園改修整備事業では、Park-PFI制度を活用して、事業者が改修整備を行った公園施設を譲渡契約により市が買い取る形になります。当初は令和4年度(2022年度)に予算措置をしていましたが、物価高騰による材料の高騰や、東京都との協議の中で土砂災害の特別区域に指定されているエリアの対策の追加分、園路の工法や市民要望の反映による追加工事分など新たに4.2億円の増額が必要になりました。

PFIによる収益化について、市民要望を反映するプロセスについて、東京都との情報共有のあり方について、この間の事業者とのやり取りについて、工期についての指摘・意見がありました。

(土木費 都市計画費 多摩中央公園改修整備・運営事業)



閉館中のグリーンライブセンターが再開館へ

改修予定で現在閉館中のグリーンライブセンターは、多摩市・恵泉女学園大学・多摩市グリーンボランティア連絡会の三者連携での運営が行われています。しかしこの度の、恵泉女学園大学の新規学生受け入れ停止の発表を受けて、今後の運営主体のあり方を検討する必要が出てきたことにより工期が変更になり、7月から11月末まで再開館することになります。

今後の運営体制や施設そのもののあり方、生物多様性など他の環境政策との連携についての指摘・意見がありました。

(土木費 都市計画費 グリーンライブセンター管理運営経費)



小学生の通学の安全を

8月から2校4ヶ所(第三小学校区の乞田新大橋交差点と乞田五叉路交差点、東寺方小学校区の宝蔵橋交差点と京王線桜ヶ丘第五号踏切)の通学安全業務について、シルバー人材センターから民間警備会社に移行され、残りの4ヶ所についても、契約は今年度限りとなりました。

シルバー人材センターが業務を受託できない理由として、①就業会員の確保が困難②高齢者の健康安全面でのリスク③警備業法に抵触する恐れがある、ということが挙げられました。

また、合計8ヶ所の年間予算としてはシルバー人材センターだと540万円ですが、民間警備会社に委託すると2,000万円程度となることや、来年度8ヶ所の見守りを民間警備会社が受けてくれるかも未定、という状況が明らかになりました。

(教育費 教育総務費 通学路安全対策事業)